

平成28年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月26日

上場会社名 株式会社 オリバー
 コード番号 7959 URL <http://www.oliverinc.co.jp>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 博美
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 岸邊 均

TEL 0564-27-2800

四半期報告書提出予定日 平成28年3月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第1四半期の連結業績(平成27年10月21日～平成28年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第1四半期	5,234	3.7	433	△0.5	502	△4.4	325	13.9
27年10月期第1四半期	5,048	8.5	435	66.2	525	49.6	285	85.6

(注) 包括利益 28年10月期第1四半期 △174百万円 (—%) 27年10月期第1四半期 760百万円 (33.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第1四半期	31.91	—
27年10月期第1四半期	28.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年10月期第1四半期	33,362	24,830	65.5	2,143.87
27年10月期	34,658	25,117	64.0	2,175.49

(参考) 自己資本 28年10月期第1四半期 21,866百万円 27年10月期 22,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	9.00	—	10.00	19.00
28年10月期	—	—	—	—	—
28年10月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年10月21日～平成28年10月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	5.1	1,650	1.3	1,750	1.5	1,050	3.1	103.91
通期	24,500	2.3	2,550	1.3	2,750	0.5	1,660	0.4	162.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年10月期1Q	12,976,053 株	27年10月期	12,976,053 株
28年10月期1Q	2,776,426 株	27年10月期	2,775,518 株
28年10月期1Q	10,200,217 株	27年10月期1Q	10,202,543 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策により、企業業績や雇用環境に改善が見られましたが、中東情勢の悪化や中国をはじめとする新興国の景気減速による生産・輸出の伸びの鈍化に加え、株価の下落や外国為替市場における円相場の不安定な動き等もあり、景気の回復は依然として不透明な環境で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは『収益向上・安定的な成長』の基本方針のもと、当社の得意とするソリューション提案型営業を推進してまいりました。

また、首都圏での営業強化の一環として、新宿支店を新設することで新規顧客の開発を含め売上の拡大を図るとともに、ライブオフィス活用による営業の生産性向上に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が5,234百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は433百万円（同0.5%減）、経常利益は502百万円（同4.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は325百万円（同13.9%増）となりました。

主なセグメントの業績は以下のとおりであります。

〈家具・インテリア事業〉

家具・インテリア事業につきましては、引き続き施設インテリア部門が好調に推移し、売上高は4,613百万円（前年同期比4.2%増）となりましたが、新宿支店開設に伴う費用等の支出が増加し、営業利益は303百万円（同9.7%減）となりました。

部門別では、オフィスインテリア部門につきましては、大手企業の業績回復により、大都市圏においてはリニューアル需要の回復の兆しがみられ、最適なオフィス空間の構築を提案してまいりましたが、その他の地域においては投資抑制の影響もあり、売上高は576百万円（同5.8%減）となりました。

店舗インテリア部門は、レジャー産業をはじめ、他市場への展開を積極的に進めましたが、飲食業界の人手不足並びに建設コスト高による新規出店、リニューアルの減少により、売上高は969百万円（同1.3%減）となりました。

施設インテリア部門は、地域医療の再編や老朽化設備の更新などによる医療施設の拡大やインバウンド効果による地方宿泊施設市場のリニューアル案件もあり、売上高は2,843百万円（同11.1%増）となりました。

ホームインテリア部門の売上高は、円安による価格の改定が浸透せず、101百万円（同21.2%減）となりました。

〈放送・通信事業〉

放送・通信事業においては、毎月開催する大相談会やお試し視聴キャンペーンの実施により、新規契約数を伸ばすことができましたが、複数契約による利用料割引額も増えたため、売上高はわずかに前年を下回りました。

また、ミクス通信料とスマホ料金を組み合わせた光セット割引により契約数も増えておりますが、大手通信事業者からの攻勢もさらに厳しくなっております。

これらの施策に加え、減価償却費の減少等により、放送・通信事業における売上高は618百万円（同0.3%減）、営業利益は123百万円（同33.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末に比べて1,296百万円減少し、33,362百万円となりました。流動資産は18,446百万円となり、主なものは現金及び預金12,109百万円、受取手形及び売掛金5,158百万円であります。固定資産は14,915百万円となり、主なものは投資有価証券5,962百万円、土地3,103百万円、建物及び構築物2,932百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,008百万円減少し、8,532百万円となりました。流動負債は5,928百万円となり、主なものは電子記録債務1,975百万円、支払手形及び買掛金1,832百万円であります。また、固定負債は2,603百万円で、主なものは役員退職慰労引当金1,828百万円であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて287百万円減少し、24,830百万円となりました。自己資本は21,866百万円となり、自己資本比率は65.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありますが、今後も比較的好調な施設インテリア部門を中心に売上の拡大を図るとともに、生産性向上及びコスト削減に努めてまいります。

なお、平成28年10月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月26日に公表した業績予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,257,527	12,109,068
受取手形及び売掛金	5,669,900	5,158,556
たな卸資産	533,283	844,183
繰延税金資産	167,842	78,029
その他	302,264	266,802
貸倒引当金	△10,969	△9,930
流動資産合計	18,919,848	18,446,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,985,353	2,932,652
機械装置及び運搬具（純額）	278,108	274,449
土地	3,059,350	3,103,876
リース資産（純額）	15,144	13,416
建設仮勘定	7,300	—
その他（純額）	124,647	141,712
有形固定資産合計	6,469,903	6,466,107
無形固定資産		
その他	212,328	357,255
無形固定資産合計	212,328	357,255
投資その他の資産		
投資有価証券	6,859,671	5,962,909
保険積立金	1,882,295	1,780,199
退職給付に係る資産	65,956	86,235
繰延税金資産	8,443	8,572
その他	322,156	336,489
貸倒引当金	△82,118	△82,118
投資その他の資産合計	9,056,404	8,092,287
固定資産合計	15,738,637	14,915,650
資産合計	34,658,486	33,362,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,031,116	1,832,122
電子記録債務	1,982,863	1,975,539
短期借入金	1,150,000	1,150,000
未払法人税等	462,158	88,766
賞与引当金	311,900	99,600
役員賞与引当金	16,057	4,014
その他	709,585	778,039
流動負債合計	6,663,681	5,928,083
固定負債		
繰延税金負債	885,794	674,487
役員退職慰労引当金	1,880,051	1,828,036
退職給付に係る負債	82,429	74,624
その他	28,551	26,784
固定負債合計	2,876,826	2,603,933
負債合計	9,540,508	8,532,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,362,498	6,362,498
資本剰余金	5,401,276	5,404,475
利益剰余金	11,194,938	11,418,375
自己株式	△3,112,318	△3,113,704
株主資本合計	19,846,394	20,071,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,175,333	1,649,412
繰延ヘッジ損益	3,326	△2,081
為替換算調整勘定	73,847	61,581
退職給付に係る調整累計額	92,216	86,076
その他の包括利益累計額合計	2,344,724	1,794,988
非支配株主持分	2,926,858	2,963,709
純資産合計	25,117,977	24,830,342
負債純資産合計	34,658,486	33,362,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月21日 至平成27年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月21日 至平成28年1月20日)
売上高	5,048,944	5,234,757
売上原価	3,636,364	3,761,935
売上総利益	1,412,580	1,472,822
販売費及び一般管理費	977,552	1,039,795
営業利益	435,027	433,026
営業外収益		
受取利息	7,074	2,148
受取配当金	40,729	43,084
デリバティブ評価益	23,525	2,774
その他	22,728	23,834
営業外収益合計	94,057	71,841
営業外費用		
支払利息	1,569	1,536
通貨スワップ等評価損	1,799	—
その他	12	633
営業外費用合計	3,381	2,169
経常利益	525,702	502,699
特別利益		
固定資産売却益	43	1,523
投資有価証券売却益	934	114,542
特別利益合計	978	116,065
特別損失		
固定資産処分損	—	975
投資有価証券評価損	—	53,265
その他	—	313
特別損失合計	—	54,553
税金等調整前四半期純利益	526,681	564,210
法人税、住民税及び事業税	50,109	85,928
法人税等調整額	152,701	102,600
法人税等合計	202,810	188,529
四半期純利益	323,870	375,681
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,180	50,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	285,689	325,442

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月21日 至 平成27年1月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月21日 至 平成28年1月20日)
四半期純利益	323,870	375,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	413,688	△525,921
繰延ヘッジ損益	9,836	△5,407
為替換算調整勘定	13,835	△12,266
退職給付に係る調整額	△956	△6,140
その他の包括利益合計	436,402	△549,735
四半期包括利益	760,272	△174,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718,875	△224,293
非支配株主に係る四半期包括利益	41,397	50,238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。